



## 議長の目<sup>アイ</sup>ランド



〇〇〇商工会「商業便利度向上調査事業」公聴会に参加して〇〇〇

商工会の商業便利度向上事業が24年度から3か年実施され、まとめの本年度、その公聴会が開かれ私も参加させていただいた。

この調査の目的は、現在の島内、島外環境をふまえ、地域の商業活動の実態を把握し、潜在的な商業ニーズを引き出し、新たな商業振興計画を作り上げることで、新島村の商業の発展と産業基盤の強化を図るとしている。このような背景には新島村の事業所数の減少傾向、特に飲食店・宿泊業・小売業の減少の実態を把握し、その活性化の方向を検証する狙いがある。商工会ではこれまで会員と地域コミュニティーの活性化のために「もやいの絆事業」「シナジースキーム事業」「ケイタリング事業」そして多くのイベント事業を実施してきた。多くは一過性の事業やイベントで、地域の活性化に寄与してきたが目立った効果は現われていないような気がする。



新島の民宿は料理が悪い、だから「リピーターが付かない」「客も少ない」などと村の中でよく聞かれたが、私は「それは過去の話で現在は施設も立派になったし、料理もおいしいと聞いている」そんな話をしてもなかなか信用してもらえなかった。

今回の調査を見ると「宿泊施設満足度」「食事、土産、交通の満足度」とも評判の良かった式根島をほんの少しだが、上回り新島の評判は良かった。新島は食事が悪いとの風評があったが、今回の調査で払拭できたように思う。今後は「食事もおいしい新島」としても宣伝していくことも可能かも？これは今回商工会が実施した『商業便利度向上調査』のほんの一例です。

このほかの事業についても細部にわたり調査を実施している。商工会におかれでは調査を十分分析し、新島の産業基盤の強化を図り、元気のある村づくりに寄与していただきたい。

議長 前田 邦弘